

各 位

2022年12月22日  
株式会社デュアルタップ  
代表取締役 白井 貴弘  
コード：3469／東証スタンダード

## デュアルタップの開発マンションが 「FX International Interior Design Awards 2022」入賞

マンション開発を行う株式会社デュアルタップ（東京都品川区、代表取締役 白井貴弘、東証スタンダード：3469）が、凸版印刷株式会社（東京都文京区、代表取締役 磨秀晴、東証プライム：7911）及び株式会社アクシス（東京都港区、代表取締役 朝香信雄）とコラボレーションしたマンションの共用部（一部）が、英国のデザイン誌「FX Magazine」主催のデザイン賞「FX International Interior Design Awards 2022」の「PUBLIC SPACE SCHEME 部門」において入賞しましたので、お知らせいたします。



### ■受賞概要

#### ○集合住宅 コンフォリア北沢 物件概要

本プロジェクトでは旧邸宅の豊かな環境と歴史を受け継ぎ、地域に開かれたデザインの具現化に取り組むことで、都市型コンパクトマンションの新たな可能性を追求しました。



世田谷区北沢の閑静な住宅地に位置する本プロジェクトでは、緑豊かな従前地の環境を受け継ぎ、繋いでいくことを第一義ととらえ、地域に開かれたデザイン・設計の具現化に取り組みました。掲げたテーマは「地域との親和」、「風景の継承」、「建物意匠の個性化」。スペース制約が多い都市型コンパクトマンションの新たな可能性追求へ挑戦しました。

「FX International Interior Design Awards 2022」では、仕上げ材に使用した「テラゾー」をはじめとした遺構の活用による意匠の個性化とその持続可能な美しさが評価され、入賞に至りました。

**テーマ①：地域との親和  
「通り抜け通路」の設置**

被災への貢献、  
また思いの場としても。  
地域へ開放した「通り抜け通路」。

建設地の狭小敷問題を解消し、道路へ2方向のルートを提供するため、隣接地も購入し、この道路を道かし、誰でも利用可能な「通り抜け通路」を計画。地域コミュニティの異なる価値観と、災害発生時における避難経路としての役割を担いました。

**BEFORE** 狭小敷により一方通行に閉ざられていた内側

2方向ルート確保のため、購入した隣接地

**AFTER** 通り抜け通路により隣接地と互方向への人の流れ

通り抜け通路



**テーマ②：風景の継承  
「植栽と遺構」の保存**

敷地配置図（鉄筋コンクリート造地上5階建て1階部分）

● 既存樹木・サクラ ● 既存樹木・移植樹木 ● 再植樹木 ● テラゾー



旧邸宅の見事な植栽を保存・移植。  
さらに、数石・灯籠などの遺構を再利用。

外構計画においては、地域のシンボルであった桜を残すことを優先してレイアウト。その他の樹種も「遺構」についても移植および再利用を計画的に実施。



**テーマ③：遺構活用による建物意匠の個性化  
「テラゾー」の開発・採用**

仕上げ材のテラゾーは、  
旧邸宅の屋根瓦を  
アップサイクルして開発・活用。

高強度素材としてモダンにアップサイクルしたテラゾーを開発し、建物の足場と同時期に建物意匠の個性化を図りました。使用用途による変容履歴の異なるため、テラゾーは「個性を継ぐ」だけでなく、継承する場所ごとに最適な加工を施しています。



在野ワークに対応するワークコーナーを各戸に設置。お好みでさまざまな色調のワークコーナーを選択し、インテリアを個性化して建築意匠を表現する。

## ○デザインを実現した経緯とその成果

敷地内にはだれでも往来可能な通り抜け通路を計画、地域の被災に寄与できる他、ベンチや手すりを設置することで「ちょっと一息できる場所」を提供。地域住民とのコミュニティ形成に貢献することも狙いました。また、外構計画は地域のシンボルであった桜を残すことを優先にレイアウト、移植可能な樹種は極力移

Dual (2重の) + tap (開発) = Dualtap : 実用性と資産性の両方を兼ね備えた不動産開発  
笑顔創造企業 — 不動産を通じてお客様の幸福に貢献します

植し、風景の継承を図っています。旧邸遺構の活用に関しては、敷石、灯籠の再利用の他、廃瓦を砕き、仕上げ材としてモダンにアップサイクルしたテラゾーとして採用することに決定しました。新たな利用価値とデザインを形成すべく骨材の大きさ・密度・色や風合いまでこだわり、屋内外での基材の違いがありながら通り抜け通路と1階共用部との連続性を意識し、建物意匠の個性化を図りました。



## ○遺構活用による建物意匠の個性化「テラゾー」の開発・採用

廃瓦を骨材としてアップサイクルしたテラゾーを開発。遺構の活用と建物意匠の個性化、さらに経年後には、研磨することで持続可能な美しさを狙いました。使用箇所により要求機能が異なるため、テラゾーは4種類を製作。また、使用する場所ごとに最適な工法を駆使しています。



Dual (2重の) + tap (開発) = Dualtap : 実用性と資産性の両方を兼ね備えた不動産開発  
笑顔創造企業 — 不動産を通じてお客様の幸福に貢献します

■FX International Interior Design Awards 2022 とは



20年以上の歴史を持つイギリスのデザイン誌「FX Magazine」主催のデザイン賞です。

「FX Magazine」は、各分野の専門家集団によってプロダクト、オフィスデザイン、ホテルデザイン、クリニック、教育、レジャーの建築デザインを掲載する専門誌です。

<https://fxdesignawards.co.uk/>

○「FX International Interior Design Awards 2022」授賞式当日・会場の様子



祝賀会日程：2022年11月30日

祝賀会会場：イギリス JW マリオット・グロブナーハウス・ロンドン

## ・「XEPEC」シリーズ開発コンセプト

素材へのこだわり、機能性へのこだわり、デザイン性へのこだわり、そして立地へのこだわり。デュアルタップの代名詞として、愛されるマンションブランドへ。

### 当社のマンション企画・開発実績

創業から累計して  
東京23区を中心に  
**73棟 2,348戸**  
(2022年6月末現在)

約**51.2%**が  
駅から**徒歩5分以内**

年間平均入居率**98.3%**  
(2021年7月～2022年6月)



### ●「XEPEC」シリーズ

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| XEPEC 中延            | XEPEC 東日暮里 South    |
| XEPEC 滝野川           | XEPEC 東日暮里 North    |
| XEPEC 門前仲町          | XEPEC 押上            |
| XEPEC 西蒲田           | XEPEC 錦糸北斎通り        |
| XEPEC 高井戸 PlusR     | XEPEC 両国            |
| XEPEC 高井戸           | XEPEC 錦糸町           |
| XEPEC 千鳥町           | XEPEC 日暮里           |
| XEPEC 水場            | XEPEC 明大前           |
| XEPEC 浅草 ARIA       | XEPEC 京急蒲田          |
| XEPEC 大森 WEST       | XEPEC 赤羽            |
| XEPEC 池上            | XEPEC 大手町           |
| XEPEC 平和島           | XEPEC 日暮里 II        |
| XEPEC 巣鴨            | XEPEC 長原            |
| XEPEC 蒲田 StationEXZ | XEPEC 押上 II         |
| XEPEC 桜谷            | XEPEC 小竹向原          |
| XEPEC 高田馬場          | XEPEC 上野            |
| XEPEC 下丸子           | XEPEC 池上 III        |
| XEPEC 平和島 II        | XEPEC 大鳥居 II        |
| XEPEC 亀戸            | RefaysXEPEC ときわ台    |
| XEPEC 池上 II         | XEPEC 大鳥居 Asylcourt |
| XEPEC 人形町 EXZ       | XEPEC 大鳥居 IV        |
| XEPEC 練馬            | XEPEC 川崎 II         |
| XEPEC ときわ台          | XEPEC ときわ台 III      |
| XEPEC 大山            | XEPEC 北新宿           |
| XEPEC 旗の台           | XEPEC 馬込            |
| XEPEC 東日暮里 I        | XEPEC ID ASAKUSA    |
| XEPEC 東日暮里 II       | LA.XEPEC 東十条        |

「XEPEC」シリーズは東京 23 区、駅から徒歩 10 分以内を開発基準とした当社のマンションブランドです。機能性を追求した室内に、利便性の高い立地を兼ね備え、選ばれるマンションになるための工夫とこだわりを詰め込んでおります。

デジタルサイネージや IoT 技術など最新技術をいち早く導入した住まいの提案など、妥協のない仕様設定と駅近にこだわったエリア選定に評価をいただいております。

投資用マンションだからこそ細部にこだわり、入居者様には住宅としての快適さを、オーナー様には資産としての安心感を提供します。不動産を通じてお客様の幸福に貢献するという当社の理念を具現化したマンションブランドです。

## ・持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組み

デュアルタップグループでは、SDGsの目指すものに賛同し、持続可能な社会の実現のための物件開発に取り組んでいます。当社の企業理念である「不動産の販売を通じてお客様の幸福に貢献したい」という思いから、商品の品質向上による社会貢献はもちろん、障がい者雇用、災害復興や地域ボランティアへの参画等、より幅広い活動にも積極的に取り組むことで、持続可能な社会の実現にも貢献しております。今回のプロジェクトは、地域との親和性を軸にデザインされた、当社企業理念を具現化した集大成の事業となりました。

デュアルタップの持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み

<https://www.dualtap.co.jp/company/csr.html>

## ・株式会社デュアルタップ

当社は、総合不動産会社として「23 区・駅近・高機能マンション」をコンセプトに、資産価値の高い個人

Dual (2 重の) + tap (開発) = Dualtap : 実用性と資産性の両方を兼ね備えた不動産開発  
笑顔創造企業 — 不動産を通じてお客様の幸福に貢献します

投資家向けワンルーム型マンションブランド「XEBEC（ジーベック）」シリーズの企画・開発・販売を主力事業として、賃貸管理、建物管理、海外不動産などを展開しており、真に価値ある商品を提供するとともに、資産運用中のバリューアップに貢献する様々なオペレーションを展開しております。

## ・株式会社デュアルタップ 会社概要

会社名 : 株式会社デュアルタップ (Dualtap Co., Ltd.)  
代表者 : 代表取締役社長 白井 貴弘  
所在地 : 東京都品川区西品川 1-1-1 大崎ガーデンタワー12F  
事業内容 : 不動産販売事業、不動産管理事業、海外不動産事業、営業支援事業  
設立 : 2006年8月  
資本金 : 217,305千円(2022年6月末日時点)  
証券コード : 3469(スタンダード)  
URL : <https://www.dualtap.co.jp>

## ・凸版印刷株式会社 会社概要

会社名 : 凸版印刷株式会社 (TOPPAN INC.)  
代表者 : 代表取締役社長 麿 秀晴  
所在地 : 東京都文京区水道 1-3-3  
資本金 : 104,986百万円(2022年3月末現在)  
URL : <https://www.toppan.co.jp>

## ・株式会社アクシス 会社概要

会社名 : 株式会社アクシス (AXIS INC.)  
代表者 : 代表取締役社長 朝香 信雄  
所在地 : 東京都港区六本木 5丁目 17番 1号  
資本金 : 4億円  
URL : <https://www.axisinc.co.jp>

<本件に関するお問い合わせ先> デュアルタップIR担当 Tel. 03-6893-0001 Mail [ir@dualtap.co.jp](mailto:ir@dualtap.co.jp)  
以上